

令和4年度事業報告

I 会議に関する事項

1. 定時社員総会

(1) 開催の日時及び場所

令和4年6月14日(火) 13時15分～15時10分
東京都千代田区 アルカディア市ヶ谷 3F 富士(西)

(2) 総会時の正会員総数と出席正会員数

正会員総数 116社
出席正会員数 87社(うち委任状出席46社、議決権行使書提出17社を含む)

(3) 審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告(案)
第2号議案 令和3年度収支決算報告(案)並びに監査報告
第3号議案 理事の選任について

報告1 令和4年度事業計画
報告2 令和4年度収支予算
報告3 中期計画
報告4 令和4年度常勤役員の報酬
報告5 協会表彰(発表)

(4) 議事の経過及び結果

司会者 滝口健一 理事・総務委員長
議長 村上恭豊 理事・副会長
議事録署名人 柴田貢理事、滝口健一理事

・第1号議案～第3号議案は、原案のとおり全員一致で可決承認された。

新任 理事 麻野幸作 (株)リッチェル 取締役
新任 理事 諸川良太 京成バラ園芸(株)社長

2. 理事会

(1) 第1回理事会(役員会と合同)

令和4年5月10日(火)
ハイブリッド会議方式(実会場は アルカディア市ヶ谷)

〈審議事項〉

- ① 令和4年度定時社員総会の開催について
- ② 令和3年度事業報告（案）及び収支決算（案）並びに監査報告について
- ③ 役員改選（案）について
- ④ 令和4年度常勤役員の報酬（案）について
- ⑤ 協会表彰について
- ⑥ 後援・協賛名義使用について
- ⑦ 委員会委員の委嘱について

〈報告事項〉

- ⑧ 「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰について
- ⑨ 「フラワー&ガーデンショウ横浜2022」について
- ⑩ 「2022年アルメーレ国際園芸博覧会」について
- ⑪ 各委員会の動向

(2) 第2回理事会（役員会と合同）

令和4年11月10日（木）

ハイブリッド会議方式（実会場は アルカディア市ヶ谷）

〈審議事項〉

- ① 「フラワー&ガーデンショウ」について
- ② グリーンアドバイザー認定事業について
- ③ 協会の財務状況について
- ④ 入会希望、退会申し出について
- ⑤ 後援・協賛名義使用について
- ⑥ 中期計画フォローアップについて

〈報告事項〉

- ⑦ 委員会の委嘱について
- ⑧ 各委員会の動向について

(3) 第3回理事会（役員会と合同）

令和5年3月7日（火）

ハイブリッド会議方式（実会場は アルカディア市ヶ谷）

〈審議事項〉

- ① 「フラワー&ガーデンショウ2022」について
- ② 今年度の収支見通しについて
- ③ 特定費用準備資金の変更及び新規設置について
 - ・国際園芸博覧会出展準備資金の変更（積立限度額の増額）
 - ・協会IT化事業資金の新規設置
- ④ 令和5年度常勤役員報酬について
- ⑤ 令和5年年度事業計画及び予算案について
- ⑥ 次期役員の体制（案）について
- ⑦ 後援・協賛名義使用について

〈報告事項〉

- ⑧ グリーンアドバイザー認定審査会委員の新体制について
- ⑨ 内閣府検査について
- ⑩ 委員会委員の動向について

3. 正副会長会議

令和4年 4月26日(火) 書面会議

令和4年 8月29日(月) web会議

令和4年10月31日(月) web会議

令和5年 3月 2日(木) web会議

web会議方式と書面で協会運営に関する主要課題の討議及び確認等を行った。

4. 委員会

(1) 総務委員会

協会運営及び財務調整等についての会議を4月25日、11月2日、1月23日に開催した。また、正副会長会議(4月26日(書面)、8月29日、10月31日、3月2日)、委員会委員長予算ヒアリング(2月16日)への出席や4月25日の監事監査、1月24日の内閣府検査の立会いを行った。

(2) 広報委員会

ホームガーデニングの編集、ホームページの運営及び広報活動等についての打合せをメール等で実施したほか、GA認定試験の広報に関するGA委員、教育・研修委員との会議を3月10日に開催した。

(3) 調査・研究委員会

DIYショウで実施する調査方法や調査結果の分析、更には今後の新たな調査事業のあり方等についての打合せをメール等で実施した。

(4) グリーンアドバイザー委員会

グリーンアドバイザー認定講習・試験へのCBT方式の導入、認定更新、園芸CPD制度運用、たねダンゴ普及事業の展開等の会議を7月28日、9月2日、11月4日、1月13日、2月10日に開催し、GA認定試験問題の会議を7月6日、8月5日、9月15日、2月2日に開催した。また、テキスト改訂編集会議を8月15日、10月18日、11月29日、12月21日、2月2日、3月3日、3月17日に開催し、GAコミュニケーション編集会議を6月29日、9月8日、12月8日、3月10日に開催した。

(5) 教育・研修委員会

園芸セミナー、講演等についての会議を10月6日、1月11日、2月1日に開催し、その実施方法等についてメールにより事務局、委員間で意見調整を行った。

(6) ショウ委員会

フラワー&ガーデンショウの企画・運営等に関する全体の会議を4月26日、7月26日、12月6日、1月13日に開催し、グループ長会議を9月6日、10月18日、1月13日、3月8日に開催した。また、「フラワー&ガーデンショウ横浜2023」の共催者の横浜市や同時開催する「ローズフェア with 趣味の園芸」の主催団体である(株)NHKエデュケーショナル等との会議を、4月11日、4月25日、7月13日、9月13日、9月16日、10月24日、12月8日、12月15日、1月18日、2月24日、3月9日、3月20日、3月27日に行い、イベント間の調整や2024年度以降のショウのあり方等について検討を行った。

(7) 植物普及委員会

たねダンゴ普及事業等についての会議を5月25日、3月13日に開催した。また、学識経験者等で構成する「たねダンゴ普及活動支援事業審査会」を8月9日、3月13日に開催し、支援イベントを選定した。

II 事業に関する事項

1. グリーンアドバイザー（GA）認定事業

平成4年に創設されたグリーンアドバイザー（GA）認定制度の趣旨に基づき、家庭園芸全般にわたり幅広く適切な助言や指導のできる人を養成するため、以下の事業を実施した。

(1) 第31回グリーンアドバイザー認定講習・試験

講習をビデオ動画によるオンライン方式で実施し、試験については新型コロナウイルス感染症対策を徹底して試験会場を全国8会場に拡大して実施した。このうち、東京については、日曜日と平日の2会場で実施した。

会場	日程	場所
東京会場	9月11日（日）	KFC Hall&Rooms
東京会場	9月22日（木）	ホテルイースト21 東京
札幌会場	9月22日（木）	札幌ガーデンホテル
仙台会場	9月22日（木）	仙台ガーデンホテル
名古屋会場	9月22日（木）	KKRホテル名古屋
大阪会場	9月22日（木）	大阪ガーデンパレス
広島会場	9月22日（木）	広島市文化交流会館
福岡会場	9月22日（木）	福岡ガーデンホテル

講習・試験申込者 818名（除くコロナ関連キャンセル）

当日受験者 777名 合格者 652名

(2) グリーンアドバイザー認定更新

グリーンアドバイザー認定資格の有効期限は5年間で、希望者は所定の手続きをすることで更新が可能になる。令和4年度の更新者数は以下の通り。

更新回数	認定登録時期	更新者数
初回更新	（第26回認定登録者）	432名
2回目更新	（第21回認定登録者）	387名
3回目更新	（第16回認定登録者）	351名
4回目更新	（第11回認定登録者）	292名
5回目更新	（第6回認定登録者）	165名
6回目更新	（第1回認定登録者）	34名
合計		1661名

(3) グリーンアドバイザー認定審査会の開催

グリーンアドバイザー認定講習・試験の実施方針の決定等を行うため、認定審査会を以下の通り実施した。

令和4年度 認定審査会

令和4年10月3日(火)

- ・第31回グリーンアドバイザー認定試験の合否決定等について
- ・令和4年度グリーンアドバイザー登録更新の実施について
- ・第32回グリーンアドバイザー認定「講習・試験」の実施方針(CBT方式導入等)について

(4) 関連事業の実施

① グリーンアドバイザー園芸CPD制度の展開

日々の活動をレポートとして協会に申告、その内容に応じて授与されたポイントを累積することにより各種称号が授与される制度で、GA個人の継続的な自己研鑽や地位向上に活用している。

② グリーンアドバイザーへの情報発信

刊行物「GAコミュニケーション」やGA専用ホームページにより、GA資格登録者に様々な情報発信を行った。

③ 「グリーンアドバイザーのいる店」登録制度により、GAの存在を広く一般にPRした。

2. 家庭園芸に関する講習会・講演会の開催

広く家庭園芸に関する基礎知識、専門知識の普及を行うことを目的に、家庭園芸に関する以下の講習会、講演会を開催した。

(1) 「家庭園芸実践スキルアップセミナー」の開催

本セミナーは「家庭園芸実践スキルアップセミナー」と題し、一連のシリーズとしてグリーンアドバイザー及び一般の園芸愛好家を対象に開催するもので、本年度は、大手種苗会社による最新の品種を中心とした花や野菜のプレゼンテーションを実会場でを行い、その内容を録画編集してYouTube配信を行った。

① 大手種苗会社による新品种プレゼンテーション

- ・日時：2月7日(火) 13:30～17:00
- ・会場：NATULUCK 日本橋 会議室(東京都中央区)
- ・参加企業：カネコ種苗株式会社、京成バラ園芸株式会社、株式会社サカタのタネ、サントリーフラワーズ株式会社、タキイ種苗株式会社、株式会社ミヨシグループ、横浜植木株式会社(50音順)

② 大手種苗会社による新品种プレゼンテーション

- ・日時：2月21日(火) 13:30～17:00
- ・会場：大阪産業創造館 研修室A・B(大阪市中央区)
- ・参加企業：カネコ種苗株式会社、株式会社サカタのタネ、サントリーフラワーズ株式会社、タキイ種苗株式会社、株式会社ミヨシグループ、横浜植木株式会社(50音順)

③ 大手種苗会社による新品种プレゼンテーションの動画配信

- ・東京会場でのプレゼンテーションを録画編集して「日本家庭園芸普及協会 YouTubeチャンネル」にて配信

(2) 「フラワー&ガーデンショウ横浜 2022」における園芸セミナーの開催

「フラワー&ガーデンショウ横浜 2022」の来場者を対象に、家庭園芸に親しみや関心を持ってもらうため、一般の方向けの講演会（参加費無料）を実施した。

- ・日時：5月14日（土）
- ・講師：園芸家 深町貴子 氏
- ・演題：「おうち菜園の楽しみ方」

(3) 特別講演会の開催

6月14日（火）の定時社員総会終了後に、園芸関係者・会員等を主な対象とした特別講演会を実施した。

- ・講師：（株）NHK出版 趣味の園芸編集長 石原一樹 氏
- ・演題：『趣味の園芸』テキスト50年の歩みと近年の新規読者の属性

3. 家庭園芸の普及・啓発に係る各種イベントの開催等

(1) 「フラワー&ガーデンショウ横浜 2022」の開催

家庭園芸の普及・拡大を目的に30年余りにわたり開催してきた総合園芸パブリックショウ「日本フラワー&ガーデンショウ」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年は中止し、2021年も、新品種を展示する「F&Gジャパンセレクション」のみを実施している。本年度は「フラワー&ガーデンショウ横浜2022」として、ショウの要素を取り入れ、昨年度より規模を拡大して以下の通り開催した。

- ・開催期間：5月12日（木）から15日（日）
- ・主 催：（公社）日本家庭園芸普及協会
- ・共 催：横浜市、ガーデンネックレス横浜実行委員会
- ・場 所：横浜市役所内アトリウム他
- ・来場者：5,555人
- ・「F&Gジャパンセレクション」（鉢物、切り花の新品種展示）、「ガーデニングコンテスト」（コンテナガーデン部門）、「ワークショップ」、テント出展他
- ・「ガーデニングコンテスト」にサポーター制度（応募者へ材料費補助）を導入
- ・ガーデンネックレス横浜実行委員会主催の「ローズフェア with 趣味の園芸」と同時開催

(2) 「2027年国際園芸博覧会」への出展準備

2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会への出展準備を強化するために、昨年度創設した特定費用準備資金「国際園芸博覧会出展事業資金」の積立て額を増額変更した。

また、（公社）2027年国際園芸博覧会協会が開催する「GREEN×EXPO 花と緑の共創会議」に参加し、「屋外出展分科会」と「屋内出展分科会」の両分科会に所属した。

4. 家庭園芸に関する調査・研究

(1) 「花と緑に関するアンケート」の実施

当協会では、家庭園芸全般の普及に寄与ことを目的に、「家庭園芸普及状況調査」（花と緑に関するアンケート）をフラワー&ガーデンショウやDIYショウの会場で継続実施している。

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で中止したが、本年度は、DIY ホームセンターショウが一般公開となったため、これに合わせてアンケート調査を実施（8月26日、27日）し、その分析結果を「家庭における「花と緑」についてのアンケート 集計結果」としてホームページに掲載した。

5. 家庭園芸に関する情報提供

家庭園芸の普及啓発を目的に、家庭園芸に関する事業・催事の告知や報告、花市場からの季節の花の紹介、さらに園芸初心者のためのコラムから指導者向けの専門的な記事まで、幅広い読者を対象に家庭園芸に関する有益な情報をホームページや印刷物によって発信した。

(1) 協会ホームページによる情報発信

協会の設立趣旨や事業内容を公示するだけでなく、協会が実施する各種公募の告知、園芸に関する最新情報の発信、スキルアップセミナーの動画配信などを行い、様々な層に向けて情報を発信した。

(2) 「Home Gardening」の発行

「フラワー&ガーデンショウ横浜 2022」、GA認定試験の実施状況、各委員会事業など協会の事業活動の報告等を掲載し、PDFにしてメール配信で情報提供を行った。

(3) 「GAコミュニケーション」の発行

定期刊行物の「GAコミュニケーション」（4回発行）では、「フラワーピックアップ」に花に関する最新情報、「野菜人訪問記」に各地の専門家のインタビュー記事を掲載し、「イベントカレンダー」や「GAのひろば」等で園芸に関する情報提供を行った。さらに横浜で開催される「2027年国際園芸博覧会」に関する情報提供を行うため、特集記事を掲載した。

(4) 日本家庭園芸普及協会 YouTube チャンネルでの情報発信

園芸愛好家や消費者の情報獲得の手段がインターネットの検索や SNS の口コミ等へと移り変わってきている現状を踏まえて、日本家庭園芸普及協会 YouTube チャンネルを活用して著名園芸家や園芸ソムリエ等による家庭園芸のワンポイントレッスンとグリーンアドバイザーの紹介動画を配信した。

- ・バラの育て方 講師：有島 薫
- ・お家で簡単家庭菜園 講師：深町貴子
- ・クレマチスの育て方 講師：金子明人
- ・グリーンアドバイザーとは 講師：金子明人他

また、東京で開催した大手種苗会社による新品種プレゼンテーションを録画編集して配信した。

6. 家庭園芸に関する国際交流推進活動

2022年4月にオランダで開催される「2022年アルメーレ国際園芸博覧会」の屋外出展実行委員会の一員として、日本国政府出展「Satoyama Farm Garden」を出展した。なお、当出展は、総合的に最高の評価である「AIPH賞」を受賞した。

また、2023年10月に開催される「2023年ドーハ国際園芸博覧会」の屋外出展実行委員会に参加し、出展準備を行った。

7. 家庭園芸に関する緑花体験活動

主に園芸の初心者や子供たちを対象に、様々な「緑花」体験活動を実施した。栽培指導や助言に当たっては、いずれもグリーンアドバイザーをはじめとした専門家の協力を得ている。

(1) たねダンゴを通じた緑花体験活動

当協会では、東北における「花と緑の復興支援活動」から生まれた新しい種まき手法「たねダンゴ」を活用した緑花体験活動に重点を置いた活動を行っている。本年度は、「たねダンゴ指導員」の育成とたねダンゴ活動への支援を行った。

① 「たねダンゴ指導員養成セミナー」の実施及び「たねダンゴ指導員」の認定

・全国9都市9会場で実施

5月11日（名古屋市）、6月4日（恵庭市（北海道））、6月19日（長岡京市（京都府））、※6月26日（仙台市）、7月3日（東京都）、9月23日（大阪市）、10月17日（横浜市）、3月29日（福岡市）、3月30日（さいたま市）

※仙台市での開催は、全国都市緑化仙台フェアの協力事業として実施した。

② たねダンゴ普及イベント事業の実施

・「フラワー&ガーデンショウ横浜 2022」（5月12日～15日）においてワークショップを実施した。

③ 「たねダンゴ普及活動 支援事業」の実施

たねダンゴ指導員を対象に「たねダンゴ」を使用する市民参加型イベントを募集し、学識経験者等で構成する審査会にて支援イベントを選定し、「たねダンゴ」用種子（1企画当たり「たねダンゴ」1,000個分相当）を無償提供する事業を実施した。

・秋まきイベントの募集（締め切り：7月31日）15企画を選定

・春まきイベントの募集（締め切り：2月28日）21企画を選定

8. その他

(1) 各種の行・催事や事業への参加・協力

国や地方公共団体及び花と緑の関係団体が行う各種イベント等に参加し、協力を行った。

(2) 会員の異動状況

会員種別		令和3年度末 現在	令和4年度異動		令和4年度末 現在
			増	減	
正会員		116	1	4	113
賛助会員	賛助合計	9	0	0	9
	賛助内訳(法人)	5	0	0	5
	賛助内訳(個人)	4	0	0	4
計		125	0	7	122